

## 担い手向けクボタコンバインセルフメンテナンス研修会の開催



8月2日（火）、4日（木）の2日間、クボタアグリサービス(株)新潟事務所において、担い手生産者を対象にコスト低減を目的としたコンバインセルフメンテナンス研修会を開催しました（両日とも同一の研修内容）。

研修では、クボタアグリサービス(株)様の指導のもと、部品交換や点検必要箇所・方法などについて学びました。ここでは研修会の内容を一部抜粋して紹介いたします。

## 研修会の様子

### 1. 前処理部と刈取部の取り外し・調整

引き起こしチェーンの調整や、刈刃の交換方法など、特に故障・磨耗しやすい部位の点検方法を学びました。



### 2. 走行部、搬送部の点検・調整

ゴムクローラの張り具合の点検・調整や、搬送チェーンの点検など、トラブルシューティングを交えた分かりやすい研修会でした。



※他にも脱穀部や糞摺部、排ワラ処理部など、様々な箇所の点検・調整方法についても受講しました。

## 研修参加者の声

- 実機に触れながら整備を学べたのは良かった。
- 取扱説明書に記載されていない内容（トラブルシューティング等）についても講習いただき、非常に有益だった。
- トラクタ、田植機についても同様の研修を実施してほしい。
- 新たに農業を始める人などにも非常に有用な研修だと思う。

など

## セルフメンテナンスの実施によりコスト低減へ

今回の研修では合計12名の生産者（法人・個人）の方々にご参加いただきました。

研修に参加した理由として『セルフメンテナンス習得によるコストダウンを図る』、『構造や仕組みを理解し、トラブル防止につなげるため』といった意見が聞かれ、農機にかかるコスト低減に強い関心があることが分かりました。

セルフメンテナンス技術の習得はコスト低減に欠かせない技術であると考えため、これからも積極的に研修会を実施する予定です。

今後の開催予定については、JAを通じてご案内いたします。

生産者の手取増加



農業機械にかかるコスト低減



セルフメンテナンス技術の習得

（ 施設農機部 農業機械課 ）

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。